京都探究ワーク 暮らし・環境

京都市のごみ減量キャラクター「めぐるくん」

Let's work! 京都市のごみ減量のための取組みを知ろう。 解説 >>>リンク

京都市では、循環型社会の実現を目指してごみ減量の取組みを進めた結果、家庭や事業所・商店などから出るごみの量を、ピークとなった 2000（平成 12）年の 82万トンから、2018（平成 30）年には 41 万トンに半減させることができた。

次の説明文の（ア）～（エ）に当てはまる語句を、下記Ⓐ欄①～⑧から選んで文章を完成させ、京都市がごみ減量のために進めてきた取組みについて学ぼう。

2015（平成 27）に策定した「新・京都市ごみ半減プラン」の中で、京都市が始めた「しまつのこころ条例」では、ごみ半減を目指して「（ア）R」と「分別・リサイクル」に重点化してごみ減量施策を推進しています。この条例では、家庭には「ごみになるものをなるべく買わないこと」を、事業者には「ごみになるものを作らないこと」を呼びかけるとともに、市民・事業者に対してごみの分別をそれまでの「協力」から「（イ）」に引き上げてルールが強化されました。

また、2014（平成 28）年に始まった「（ウ）祭ごみゼロ大作戦」では、毎年多くの観光客が来場するこの祭りで出るごみの減量と、ごみの散乱防止に取り組まれています。夜店や屋台の協力と、約 2000 人のボランティアスタッフの働きにより、使い捨て食器を 21 万食分の（エ）食器に切り替えて、ごみの量をゼロに近づけることを目標にしています。実施 1 年目には前年より来場者が増えたにもかかわらず、ごみの量を 34 トン減らすことに成功。2017 年からは（ウ）と同じく日本三大祭の一つに数えられる大阪の天神祭（てんじんまつり）でも「ごみゼロ大作戦」がスタート。日本の祭りにおける屋台文化を環境配慮型に変える取組みとして定着しています。

Ⓐ ① 任意　② 2　③ 4　④ リユース　⑤ 義務　⑥ 祇園（ぎおん）　⑦ 紙製　⑧ 葵（あおい）

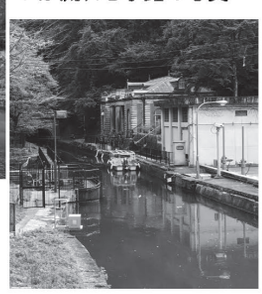
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
②	⑤	⑥	④

Let's work! 京都市の水道水について知ろう。

京都市の水道水の原水は、明治時代につくられた水路を通って運ばれてくるが、その水路の名称は何というだろうか。地図や資料で調べるとともに、あなたの地元地域の水道水と京都市の水道水について調べ、比較してみよう。

解説 >>>リンク

◀京都市の水道水の原水
▼が流れる水路の写真



《水路名》 琵琶湖疏水（びわこそすい） 解説

Hint 水道料金の比較は、水道メーターの口径サイズや料金設定の月数などの条件を同じにして比べよう。都市によっては、水道料金の表示が 1 ヶ月単位や 2 ヶ月単位など、計算月数が異なる場合があります。

解説 地域によって浄水場が異なり、新宿区全体としては合計 5 カ所の浄水場から給水

	京都市の水（=0.273㎥）	（例）（東京都新宿区）の水
水源	琵琶湖（約 99%）	主に利根川および荒川
比較	1人1日あたりの平均水道使用量：232 ℓ ※1（=0.232㎥）／水道料金：2,134 円 ※2／浄水場の数：3 カ所	1人1日あたりの平均水道使用量：273 ℓ ※1／水道料金：2,816 円 ※2／浄水場の数：主に 1 カ所

※1 それぞれ令和 4 年の数値。「1 人 1 日あたりの平均水道使用量」が公表されていない場合は、平均給水量で計算して比較しよう。

※2 令和 6 年 3 月現在の料金で、条件を「使用量 20 ㎥、水道管の口径 20mm、2 ヶ月分の料金」に設定して両都市を比較。

© KYO-GAKU LABO